

6. 競争的研究資金

○看護学専攻

氏名・職	資金提供元	研究題目
田川 泰・教授	文部科学省	水素発生源として水素貯蔵合金を使用したピンポイント癌治療法の開発（分担）
濱野香苗・教授	長崎大学	平成21年度大学高度化推進経費 国際交流事業（分担） フィリピン大学看護学部との看護教育コラボレーション活動—学術交流覚書の締結を目指して—
森下路子・教授	日本学術振興会	萌芽研究 糖尿病患者の保険行動と身体感覚についての研究
花田裕子・教授	文部科学省	萌芽研究 18歳以上の青年期虐待被害者への自立支援システム構築の基礎調査
花田裕子・教授	NPOメンタルヘルス研究会	問題行動を持つ子どもと母親の宿泊体験によるピアサポートに関する研究（分担）
花田裕子・教授	精神保健福祉協会	子どもの集団遊戯療法が問題行動の改善に与える効果に関する研究（分担）
中島久良・教授	厚生労働省	子宮頸癌及び体癌における後腹膜開放術の術後下肢リンパ浮腫改善に関する検討（分担）
中島久良・教授	(財)放射線影響研究所	原爆被爆者における腫瘍発生の研究（分担）
大西真由美・教授	日本学術振興会	挑戦的萌芽研究 社会的不利条件下の助成と子供のヘルスリテラシー向上のための地域エフィカシー要件
大西真由美・教授	ユニバーサル財団2009年度研究助成	社会的不利条件下におけるエイズ孤児ケアへの高齢者の寄与拡大可能性
宮原春美・教授	日本学術振興会	挑戦的萌芽研究 発達障害児の性発達の実態と性教育の有用性に関する研究
宮原春美・教授	日本学術振興会	受託研究費 ひらめき☆ときめきサイエンス みんなで楽しく学ぼう「からだ探検隊」
宮原春美・教授	日本学術振興会	受託研究費 ひらめき☆ときめきサイエンス 遺伝について楽しく学ぼう（分担）
楠葉洋子・准教授	日本学術振興会	挑戦的萌芽研究（分担） 看護師を対象とした在宅美取ケアに関する効果的・効率的研修プログラムの開発
松井美帆・准教授	文部科学省	若手研究(B) 介護予防サービス利用者における自律性の評価に関する研究
松成裕子・准教授	学科長裁量経費	放射線医療における専門看護師養成教育カリキュラム開発研究—看護教育内容の抽出とカリキュラム構築—
大町いづみ・講師	日本学術振興会	挑戦的萌芽研究 看護師を対象とした在宅看取りケアに関する効果的・効率的な教育研修プログラムの開発

氏名・職	資金提供元	研究題目
大町いづみ・講師	長崎大学医学部保健学科長裁量経費	「学科長裁量研究プロジェクト」(分担) 連想法調査によるチームアプローチ教育の効果と効率的なプログラム開発に関する研究
大町いづみ・講師	文部科学省	「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」(分担) 在宅医療と福祉に重点化した薬学と看護学の統合教育とチーム医療総合職養成のための拠点形成
野村亜由美・講師	日本学術振興会	基盤研究(C) 津波被災後のスリランカにおける高齢者の心的外傷と認知症に関する医療人類学的研究
野村亜由美・講師	長崎大学	平成21年度大学高度化推進経費(分担) フィリピン大学看護学部との看護教育コラボレーション活動ー学术交流覚書の締結を目指してー
川崎涼子・助教	文部科学省	若手研究(B) 在宅ケアにおける訪問看護師の倫理的ジレンマ
永江誠治・助教	文部科学省	若手研究(B) 小児精神看護における母子を対象とした心理教育プログラムとアドヒアランス指標の開発
永江誠治・助教	文部科学省	萌芽研究(分担) 18歳以上の青年期虐待被害者への自立支援システム構築の基礎調査
永江誠治・助教	NPOメンタルヘルス研究会	問題行動を持つ子どもと母親の宿泊体験によるピアサポートに関する研究
永江誠治・助教	精神保健福祉協会	子どもの集団遊戯療法が問題行動の改善に与える効果に関する研究
森藤香奈子・助教	日本学術振興会	若手研究(B) 染色体障害児のきょうだいケア体制の構築に関する研究(課題番号21792264)
森藤香奈子・助教	日本学術振興会 ひらめき☆ときめきサイエンス	遺伝について楽しく学ぼう
山口智美・助教	長崎大学医学部保健学科学科長奨励賞	A大学病院非糖尿病専門診療科を受診する糖尿病予備群像
横尾誠一・助教	日本学術振興会	看護師を対象とした在宅看取りケアに関する効果的・効率的な教育プログラムの開発(分担)
佐々木規子・助教	文部科学省	若手研究(B) 地域に根ざした遺伝カウンセリング体制構築に向けての検討

○理学療法学専攻

氏名・職	資金提供元	研究題目
沖田 実・教授	日本学術振興会	基盤研究(B) 関節周囲組織の網羅解析から拘縮の発生メカニズムとリハビリテーションの効果を探る
沖田 実・教授	日本学術振興会	基盤研究(C)(分担) 関節拘縮による関節軟骨変性メカニズムの解明およびリハビリテーションの効果

氏名・職	資金提供元	研究題目
沖田 実・教授	長崎大学医学部保健学科長裁量・研究プロジェクト	不活動が原因で発生する慢性痛の病態解明に関する調査・実験的研究
折口智樹・教授	日本学術振興会	基盤研究 (C) 関節拘縮による関節軟骨変性メカニズムの解明およびリハビリテーションの効果
折口智樹・教授	日本学術振興会	基盤研究 (B) (分担) 関節周囲組織の網羅解析から拘縮の発生メカニズムとリハビリテーションの効果を探る
折口智樹・教授	厚生労働省	厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 高VEGF血症を特徴としたRS3PE症候群関連新疾患概念の確立と普及
加藤克知・教授	日本学術振興会	基盤研究 (B) 海外学術 (分担) 古代アンデス社会におけるヒトの移動と文化変容の関係の解明
千住秀明・教授	日本学術振興会	基盤研究 (C) 地域リハビリテーションによるCOPD地域連携モデルの構築
千住秀明・教授	環境省	独立行政法人 環境再生保全機構委託業務 COPD患者と公害認定患者に対する重症度別、簡易呼吸リハビリテーションプログラムの多施設間無作為比較試験に関する研究
松坂誠應・教授	日本学術振興会	基盤研究 (C) 虚弱高齢者等の運動習慣化・生活様式変化に対する高齢健康指導ボランティアの効果
中野治郎・助教	文部科学省	若手研究 (B) サルコペニア対策としての温熱刺激の有用性に関する実験的研究 (中野治郎)
中野治郎・助教	日本学術振興会	基盤研究 (B) (分担) 関節周囲組織の網羅解析から拘縮の発生メカニズムとリハビリテーションの効果を探る
中野治郎・助教	日本学術振興会	基盤研究 (C) (分担) 抗コリンエステラーゼ剤の重症筋無力症治療の妥当性と運動終板構成蛋白
中野治郎・助教	日本学術振興会	基盤研究 (C) (分担) 重症筋無力症の発症機序：実験的抗MuSK抗体陽性動物モデルの検討
中原和美・助教	日本学術振興会	基盤研究 (C) (分担) 虚弱高齢者等の運動習慣化・生活様式変化に対する高齢者健康指導ボランティアの効果
中原和美・助教	長崎大学医学部保健学科長裁量・研究プロジェクト	連想法調査によるチームアプローチ教育の効果と効率的なプログラム開発に関する研究
中原和美・助教	長崎大学医学部保健学科長裁量・研究プロジェクト	在宅高齢者に対する介護予防関連事業の効果的・効率的なプログラム開発と事業を通じた高齢者QOL向上及び地域づくりに関する研究 (分担)

○作業療法学専攻

氏名・職	資金提供元	研究題目
吉村俊朗・教授	厚生労働省	厚生労働研究費補助金（分担） 食品の安心・安全確保推進研究事業 カネミ油症検診者の血清CKおよびアルドラーゼ値の経年変化と内科合併症について
吉村俊朗・教授	厚生労働省	厚生労働研究費補助金（分担） 難治性疾患克服研究事業 重症筋無力症の前向き臨床研究と生体試料バンクの構築
吉村俊朗・教授	日本学術振興会	基盤研究(C) 抗コリンエステラーゼ剤の重症筋無力症治療の妥当性と運動終板構成蛋白
東嶋美佐子・教授	長崎大学医学部保健学科	在宅高齢者に対する介護予防関連事業の効果的・効率的プログラムの開発と事業を通じた高齢者QOL向上及び地域づくりに関する研究（分担）
中根秀之・教授	日本学術振興会	基盤研究(C) プライマリ・ケア領域における精神医学的諸問題とグローバル・バーデンに関する研究
中根秀之・教授	厚生労働省	厚生労働科学研究費補助金（こころの健康科学研究事業）（分担） 国内外の精神科医療における疾病分類に関する研究
中根秀之・教授	厚生労働省	厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）（分担） 精神障害者への対応への国際比較に関する研究
田中悟郎・教授	日本学術振興会	基盤研究(C) 統合失調症を有する人と家族のセルフステイグマの関連性の分析
田中悟郎・教授	日本学術振興会	基盤研究(C)（分担） 統合失調症者家族の介護負担感に影響を及ぼす社会文化的・自然環境的要因
菊池泰樹・准教授	厚生労働省	精神神経疾患研究委託費（分担） 筋ジストロフィーの臨床試験実施体制構築に関する研究
岩永竜一郎・准教授	日本学術振興会	基盤研究(C) 広汎性発達障害児の聴覚過敏に対するノイズキャンセリングヘッドフォンの効果
村田 潤・准教授	日本学術振興会	若手研究(B) 手指感覚識別に伴う自律神経性手指循環制御の加齢性変化；客観的感覚機能評価への応用
村田 潤・准教授	日本学術振興会	基盤研究(B)（分担） 在宅高齢者における転倒予防プログラム介入のランダム化比較試験
村田 潤・准教授	日本学術振興会	基盤研究(C)（一般）(分担) 広汎性発達障害児の聴覚過敏に対するノイズキャンセリングヘッドフォンの効果
田平隆行・助教	日本学術振興会	若手研究(B) 脳血管障害片麻痺者に対するミラーボックスを用いた神経リハビリテーションの効果研究